ほなみ薬局 一陽来復通信

2022年1月号

No.63

あけましておめでとうございます

新しい年を迎え、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。本年も私たちは「御縁のある方皆様の元気で長生き」を目指して参ります。

今年は寅年

寅"虎"と言えば黄色。黄色は古代中国より皇帝の色とされ徳の高い気品のある色と尊重されてきました。

また、黄色は「集中力」「判断力」「記憶力」「明るい気分」などの心理効果があるとのこと。

今年はマイカラーを黄色にして、明るい気分で楽しく元気に過ごすのも良いかも知れませんね♪。

一陽来復

いちようらいふく

中国最古の古典「易経」に書かれている言葉です。意味は「冬が終わり、春が来ること」悪いことや辛いことが続いても、耐えれば良いことが必ず訪れる。止まない雨は無い。明けない夜は無い。病気も同じです。人間には「自然治癒力」が備わっていて適切な養生をすることで回復する方向に向かうことが出来るのです。「一陽来復」は私のとても好きで大切にしている言葉です。

虎と薬のエトセトラ

虎はあの勇ましい姿と稀少性から古来より薬の材料として用いられてきたようです。

(現在虎骨などはワシントン条約により取引が禁止されている)

江戸時代にコレラが流行した時には虎の頭蓋骨を配合した薬が配布されたとか。

虎の頭蓋骨は鬼をも殺す薬効があると信じられていました。

(宋代の「図経本草」にも虎骨の薬効が記載されているので迷信ってわけでもないのです)

虎杖

いたどり

これは日本の至る所で採取することが出来る生薬で、若葉をもんで擦り傷につけると「痛みが取れる」ということから「イタドリ」と呼ばれるようになったとのこと。

漫画好きな方なら「呪術廻戦」の主人公虎杖悠仁がすぐ出てきますよね。私も大好きです(笑)

五虎湯

ごことう

という漢方薬もあります。ひどい咳などに使うことが多いものです。漢方の古典である「万病回春」に収載されていて、五種類の生薬を用いていることと、肺の守護神は白虎であることから名付けられたと言われています。

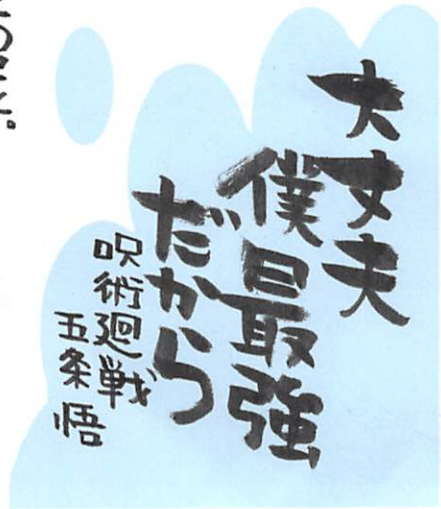
七草粥

(虎は関係ないですが…)

春の七草などを具材にするお粥で1月7日の朝に食べ、その1年の無病息災を願うということと、正月の飲み食いで弱った胃を休めるという意味もあります。

胃腸が弱ったらお粥♪が最高の養生食です。

ほなみ薬局
薬剤師 川上一郎



株式会社 ほなみ薬局

ほなみ薬局本店
・処方せん受付・
〒034-0037
青森県十和田市穂並町10-3
Tel：0176-23-4546
Fax：0176-24-0434
8:30～19:00 定休日:日曜・祝日

ほなみメディカル
・ユニバース十和田東店内・
〒034-0012
青森県十和田市東一番町4-14
Tel：0176-25-4343
Fax：0176-25-4343
9:00～20:00 年中無休